

平成 30 年度
全子連ユース会議

会議録【組織強化支援部】

H30.6.16~17
全子連ユース執行部

組織強化支援部 6月16日議事録

Mission : 6月16・17日の2日間でアンケート内容をまとめる。

○アンケート概要

内容をまとめ、全子連・執行部の確認の上アンケートを夏頃発信予定。秋ごろに回収
回収が遅いところ、各ブロックから回収を促す。

回収後はブロックごと・全国的傾向を分析しまとめる。

(2月の中央会議で結果・分析内容を開示したい←事業支援部からの要請)

⇒今年度は全国的傾向をまとめるところまで行い、来年度は分析結果を受けて対策をとる。

※全県・市子連に回していくのが理想、各々まとめていきたい。アンケートは同内容で

○アンケート作成前に、各地の現状を確認

穴見（大分）：県のSLとして活動。市町村から要請が来たら、参加できる人間が行く。

特にJLの研修会等はできるだけ市町村出身者をその市町村に出す。

平成12年発足（九州大会を目的に）。発足当時から県子連との関係は良好。

企画書作り等もJLの研修会に取り入れている。

JLは市町村ごと。SLは各市町村子連と同列。

銅島（岐阜）：県シニアに入る前に6つの地区のSL。その下に市町村

JLは「各地区」はない。

インリーダー⇒JL⇒SLの3ステップ

大学生のみの「シニアリーダー」もある。

県シニアの登録は50人くらい、ただ実働数は一握り。年齢制限なし。

古谷（秋田）：JL自体は横手しかない。SLは県子連の中（全県対象）

SL自体のなり手がいない。動ける人間があまりいない。

夏・冬にJL研修会。ただし参加者は生徒会等もいて、実質中高生交流会。

JL・SLの知名度は高くない。内容はSLが組む。

横手市で作るという話はない。

井合（石川）：県SLはない、県内4・5くらい。

県事業の際は招集されるが、金沢が中心。

県と金沢の会長はイコール。

大久保（茨城）：各市町村、別規約でやっているが組織上の関係

育成会の役員として SL が入る

高校生隊として県に JL が存在。中学生は市町村ごとに構えている。

砂田（北海道）：SL は地域ごと。年齢制限なし。

地域ごと SL として、というより OBOG 団体として。

広いだけあって地域ごと。

道として認知度をあげていくべくキャンプを行っている。

道で SL を整備しようという段階。

柏田（栃木）：OBOG 団体としてある状態。

県としてやっているのは実働 2 名の状態。県内まばらな状態。

JL 卒業後の進路で、県内に残る人間が少ない。

菊地（仙台）：JL 指導権は育成会にはない。SL 立ち上げで悩んでいるのもこの点

マンパワーとして求める育成会と、JL との関わりを求める当事者

田代（川崎）：県とのつながりはない

SL は委員会として市内で組織。

○アンケート内容

設問内容

- ・ 各県・指定都市ごとの組織図を添付。
- ・ SL は必要か
- ・ 金銭面について
- ・ 活動内容
- ・ SL の役割
- ・ SL に対する希望
- ・ SL の募集方法
- ・ 人数
- ・ 他地区とのつながり

アンケート対象（17 日に検討）

- ・ 共通設問・SL があるところ・SL がないところ・SL 準備中のところ

アンケート設問数（17 日に検討）

○アンケートで志向するもの

- ・ 各県ごとに他県の結果を示した上で、話し合いの材料にするのもいいのでは。

⇒全体的な情報共有をできるアンケート。

フィードバックの返し方も検討の余地あり。

○アンケート事例（執行部案）を確認

- ・「類似する団体」と文言があると良い

- ・ SL がない場合の理由を問う（項目で聞く）
- ・ アンケート回答潤の指示。

☆今後の予定

スケジュール

- ①でき次第送付（9 月中旬に再送付（催促））
 - ②9 月 15 日締め切り
 - ③未回答のところは 9 月 30 日締め切り
 - ④集計作業は回収後から 10 月末まで
 - ⑤分析作業は今後検討
- ⇒最終目標は 2 月の全子連中央会議での情報開示！